

## 「日本歯科技工学会雑誌」投稿規程

(2021年2月改正. 第42巻2号より適用)

### A. 投稿資格

本誌への投稿は特別な場合を除き, 本会会員に限る.

### B. 原稿の種類および形式

1. 原稿の種類および記述形式は以下の基準とする.

- 1) 総説: 依頼論文として, 編集委員会より依頼する. 著者自身の研究を中心として, その分野全般にわたり解説したもの.
- 2) 原著: 研究の新規性(独自性)が高く, 客観的な結論が得られ, 歯科技工の発展に寄与するものであること.
- 3) 臨床技工(技工術式): 臨床技工から導かれた独自性の高い研究や臨床で定説となっている技工術式の修正等についての提言したもの.
- 4) 教育: 教育に関して新しい試み. 教授方法などを紹介するもので, 著者の提案する改良, 改善によって, 教育の有効性がより向上することが記述されているもの.
- 5) 調査研究: 歯科技工に必要な情報について調査結果などを整理した内容で, 独自性が強いもの.
- 6) その他: 上記区分に属さないものは, 論文内容によって編集委員会が区分して掲載する.

2. 論文の内容は, 本会の目的に沿った研究成果, および歯科技工技術に関するもので, 他の刊行物に未発表のものに限る.

### C. 原稿の採否および掲載順

原稿の採否は査読制度に基づき査読委員会の報告をもとに編集委員会で決定する. ただし, 内容や字句などの修正を求めることもある. 掲載順位は原稿受付日順に従う.

### D. 原稿受付締切日および発行予定日

	原稿受付締切日	発行予定日
1号	8月15日	1月25日
2号	1月15日	7月25日

### E. 掲載料

論文の掲載料は刷り上がり5ページまで無料(学会負担)とする. ただし, 超過ページ分(1ページにつき8,000円)とカラー写真, 図のトレースは著者負担とする.

### F. 別刷

別刷希望の場合は, 表紙5,500円+白黒1部120円, 表紙5,500円+カラー1部230円を著者負担とする.

## G. 校 正

著者校正は1回とする。著者校正の際、印刷上の誤り以外の字句の訂正、挿入、削除などは認めない。

## H. 原稿の様式

1. 原稿はA4判用紙に25字×23行（＝雑誌1/4頁分）で印字し、原稿下中央に通しページを記入する。

2. 原稿の第1ページに次の事項を記載し、表紙とする。

a. 原稿の種類

b. 表題名（和文）

c. 著者名

d. 表題名（英文）

e. 著者名（ローマ字）

（例）Saka Hideki

f. 著者の所属および連絡先（所属機関が異なる場合は右肩に<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>を付け、所属を明確に区分する）

3. 抄 録

a. 和文抄録は400字以内、英文抄録は300 words以内とし、両者の内容を一致させる。英文抄録は原著・教育研究・調査研究は必須とし、臨床技工（技工術式）は不要とする。

b. キーワードは、和・英ともそれぞれ5語以内を添付する。

4. 本 文

a. 原稿の構成は、A. 緒言、B. 研究方法（材料と方法）、C. 結果、D. 考察、E. 結論、文献とする。

b. 文章はできるだけ簡潔に、わかりやすく表現すること。かなは新かなづかいとし、漢字は学術用語以外は常用漢字を用いる。

c. 原稿の区分けは、次のような順にする。

A……, 1……, a……, a) ……

d. 外来語はカタカナで書くこと。

e. 単位記号は国際単位系（SI）とし、数字はアラビア数字を用いる。

f. 製品名は、原則として「一般名（製品名、会社名、国外製品は国名）」のように記載する。

g. 本文中の文献引用は、著者名や引用文のあとの右肩に文献番号と片括弧をつける。

（例）佐野<sup>1)</sup>は～と（佐野ら<sup>1)</sup>は～と）

～の成績が報告<sup>1-10)</sup>されている。

～とされている<sup>1, 3)</sup>が

h. 図や表を本文原稿に貼りつけたり，掲載箇所を示すための空白を作らないこと．

## 5. 図，表

a. 図（写真）と表に分類して番号を付け，図と表それぞれで1ファイルとする．

b. 説明は和文とし，必ず別の用紙（A4判）に番号順に記入し，図および表に添付する．

c. 図は白地に黒で鮮明に書くこと．原図の大きさは刷り上がり寸法のおよそ2倍とし，縮尺を考慮して線の太さ，記号や文字の大きさを決めること．なお，縮尺の指定のないものは編集委員会一任と考えて処理する．

また，不鮮明な図の場合は，著者の希望がなくてもトレースする（実費）．

## 6. 文献

### a. 末尾文献について

a) 末尾文献は本文に引用されたものだけをあげ，本文中に出てきた順序に番号をつけること．

b) 文献の記載には，次の形式を厳守し，ピリオド，コロン，カンマの使いわけに注意すること．

### b. 雑誌の場合

著者：表題，雑誌名 巻（号）：頁-頁，発行年．共著の場合は筆頭者を含め3名までとし4人目以下の共著者は『他』または『et al.』と略す．

（例）山田太郎：ポーセレン・ジャケット・クラウンの強度に関する研究，日歯大誌 26（2）： 283-339，1959．

（例）Yokotsuka S, Tamaki T：Study of Co-Cr-Ni alloy for casting denture, J Dent Eng 79（6）： 115-122，1978．

### c. 単行本の場合

著者：書名，頁-頁，発行所，発行地，発行年．

（例）藤田恒太郎：歯の組織学，122-130，医歯薬出版，東京，1958．

（例）Tylman SD：Theory and practice of crown and fixed partial prothodontics, 495-529, The C. V. Mosby Co., Saint Louis, 1970 (6th ed.) .

（注）雑誌の略名は当該誌が指定する略称とする．それ以外は日本自然科学雑誌総覧，または，日本医学雑誌略名表ならびに Index Medicus などによるものとする．

## I. 倫理規程

ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言を遵守し，研究対象者および患者からインフォームド・コンセントを受け，所属施設の倫理委員会，所属施設に倫理委員会がない場合は本会倫理委員会の承認を得たものでなければならない．また，論文中には承認を得ている旨ならびに承認（許可）番号を必ず明記する．

## J. 著作権

当該著作物の著作権は日本歯科技工学会に帰属する。

### 臨床技工（技工術式）論文執筆要領

#### 1. 原稿の構成

基本的な項目は次の A. ～E. および文献を含むよう心掛ける。

- A. 緒言, B. 技工術式（症例の概要）, C. 結果,
- D. 考察, E. 結論, 文献

#### 2. 項目の内容

##### A. 緒言

執筆にあたっての目的を述べる。

##### B. 技工術式（症例の概要）

対象症例の性別・年齢, その他特記事項（製作時期など）を述べる。

製作方法, 使用材料, 製作期間, 経過報告などについて述べる。必要に応じて写真・図などを使用する。

##### C. 結果

技工術式の結果をまとめる。必要に応じて写真・図などを使用する。

##### D. 考察

過去に報告された論文などを参考に, 著者の考えを述べる。

##### E. 結論

知見をまとめるとともに, さらに今後の問題点を述べる。

##### 文献

執筆にあたって引用した文献・資料をあげる。

なお, 症例写真を用いる場合は, 患者の同意を得るとともに歯科医師との共著とする。

### 投稿要領

1. 原稿は電子メールで送付する。

2. 原稿（表紙, 抄録, 本文で 1 ファイルにする）は Microsoft Office Word（以下, Word）形式とする。

図は jpg または pdf, 表は Microsoft Office Excel または Word 形式とする。

3. ファイル名は和文で「著者名」\_\_「所属名（大学は学部以下不要）」\_\_「原稿・図・表・投稿票」\_\_およびファイルを表す「. 拡張子」とする。

（例）山口太郎\_\_日本歯科大学\_\_原稿. doc ; 山口太郎\_\_日本歯科大学\_\_図. jpg ; 山口太郎\_\_日本歯科大学\_\_投稿票. doc

4. カラー印刷希望の図はカラーデータ, モノクロ印刷希望の図はモノクロデータとする。

5. 電子メールの件名 (Subject) は「技工学会投稿論文」とする.
6. 投稿原稿は, 日本歯科技工学会事務局: hensyu6@kokuhoken. or. jp に送付する. 念のため CC (Carbon Copy) に, hensyu5@kokuhoken. or. jp を加えること.
7. ファイルサイズが大きすぎる等の問題のため電子メール投稿が困難な場合は, FTP サーバ等を用いた投稿も可能とする. この際であっても, まずは6. のアドレスに連絡し, その際にファイルをダウンロードするサイトを指示すること.
8. 投稿原稿には『投稿票・チェック票』と『承諾書』を添付する. 『承諾書』は著者全員が署名・捺印したものを PDF ファイル化して投稿原稿とともに送信し, 著者校正返送時にはその原紙を同封する.

### その他

1. 原稿は特別の場合を除き返却しない.
2. チェック票の指示に従い, 投稿原稿を確認する.
3. この規程にない事項は別に編集委員会で審議し, 理事会にはかり決定する.
4. 学術大会講演抄録集は本誌特別号となり, 文献引用が可能となった. 記載は, 日歯技工誌 29 (特別号): 115, 2008. のようにする.

原稿送付先および問合せ先

hensyu6@kokuhoken. or. jp

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9

(一財) 口腔保健協会内 (一社) 日本歯科技工学会雑誌編集係